

<p>10月17日</p>	<p>木</p>	<p>15:00 ～ 16:30</p>	<p>口腔ケア事業 第2回 研修会 ポジショニングについて講義と実習 場所：特別養護老人ホーム ひかり苑・天佳苑 講師：医療法人誠佑記念病院 診療技術部リハビリテーション室 理学療法士 北出貴則先生</p> <p>参加者：合計51名（施設内 28名 施設外 15名 協力歯科医師8名）</p> <p>テーマ「口腔ケアと食事のための姿勢づくり」 “ベッド・車いすでの姿勢を整える” 食べることは生命維持に必要なこと。しかしそれ以上に楽しみでもある。車いすやベッド上生活を強いられている方にとって、姿勢の崩れがあると、姿勢に意識が集中し痛みや不快感が生じる。そうなると食事をとることもできなくなるうえに、生きていく上での楽しみさえ奪ってしまうことになりかねない。今回の研修で姿勢づくりのポイントを学び、今まで実施してきたことを見直す機会になっていただければと思う。 ひかり苑・天佳苑様では広い会場を準備いただき、「ほかの施設で受講したのですが、もう一度行きたいのですが・・・。」との問い合わせにも対応していただくことができました。また、施設の代表者様からは、「学んだことを、現場に少しずつ取り入れて、ケアに生かし続けたい。」と挨拶があり、土田歯科医師会長から終了証を送られました。</p> 
<p>10月23日</p>	<p>水</p>	<p>13:00 ～ 14:00</p>	<p>診療所内カンファレンス 岡本クリニック 19名参加 5症例のカンファレンスを実施</p> <p>研修以外で久々に「社会的な痛み」という言葉を聞きました。さすがペインクリニックの先生です。 その患者様にとっては、定期的を受診する医師や関わってくれるヘルパーが安心材料となり、薬以上の効果がある。 医療・介護関係者が同じ方向性で、更にスポットでなく日頃からかかり続けてくれることが支えになる。 関係者に感謝！！</p> <p>岡本先生からは、「カンファレンス終了後の雑談にも意義があります。どうぞこの場所を使ってくださいと・・・。」 お言葉に甘えてなかなか駐車場は空になりませんでした。</p>
<p>10月29日</p>	<p>火</p>	<p>16:00 ～ 17:20</p>	<p>診療所内カンファレンス 前田医院 20名参加 12症例のカンファレンスを実施</p> <p>いつもたくさん事例報告・相談があります。中でも認知症関連の問題点も多く報告されます。 本人はデイサービスに行くつもりでも、同居の家族が農作業の繁忙期になると送り迎えの準備や体制が整わないために、結局自宅で過ごすしかない。特に徘徊歴のある方は外からカギを閉めてでも、家族は出かけてしまうことさえあるという現状。今まで井戸端会議をしていた人たちが施設に入所したりして近所も不在となっている。 お泊りデイや近くのサロンやインフォーマルなサービスなどをうまく活用して、本人も家族も安心できるサービスの組み立てが必要となっているようです。</p>